

特別選抜「エキスパート入学試験」

試験科目：「デザインに関する講義聴講による課題」

日 程：2025 年 2 月 8 日（土）

試験時間：9 時 00 分 ～ 13 時 30 分（4 時間 30 分）

配付されるもの：

問題用紙 1 枚、制作用ケント紙（B1 サイズ）1 枚、PM パッド（A3 サイズ）5 枚、コピー用紙（A4 サイズ）5 枚、色鉛筆 1 セット、マーカー 2 セット、鉛筆（HB）1 本、消しゴム 1 個、定規大小各 1 本、カッター 1 本、はさみ 1 丁、セロテープ 1 巻、カッターマット 1 枚、検索用パソコン 1 台

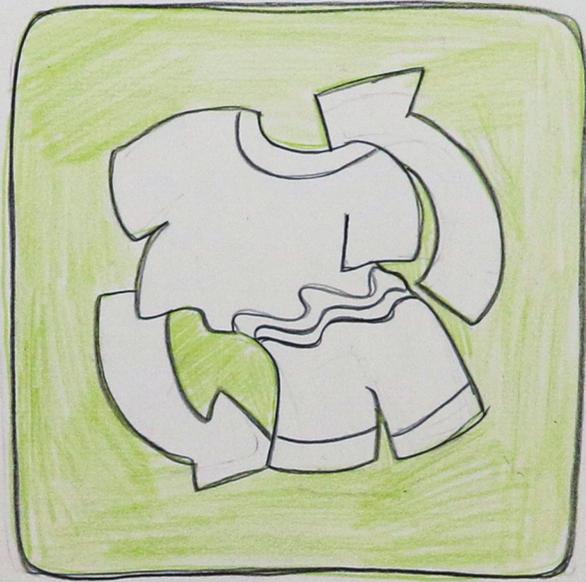
[問題]

デザインに関する講義を聴講して次の問題に答えなさい。

近年、持続可能な社会をつくるために環境に配慮した製品、施設、プロジェクトなどが多く見受けられます。世の中のゴミを減らすためにデザインでできることを提案してください。

[条件]

- ・与えられた B1 ケント紙を使用して提案すること。
- ・表現形式は自由とする。〈例〉ブック形式、絵や文を書く、立体の模型を作るなど。
- ・「タイトル」を明記すること。
- ・「ねらい」をわかりやすく文章でまとめること。
- ・インターネットでの情報収集は検索用パソコンを使用すること。
- ・WEB サイトから引用する場合には引用元を明記すること。
- ・Wikipedia からの直接引用は禁止。
- ・AI の使用は禁止。
- ・制作過程でのメモやスケッチは配布した PM パッド紙を使用する。
- ・A4 コピー用紙はラフ制作や、鉛筆を削るなどに使用すること。
- ・受験番号を作品右下のわかりやすいところに明記すること。
- ・問題用紙、その他用紙はすべて回収する。



rechoose

分^レからないから分^レかるへ

衣服リサイクルアフリ

「rechoose」



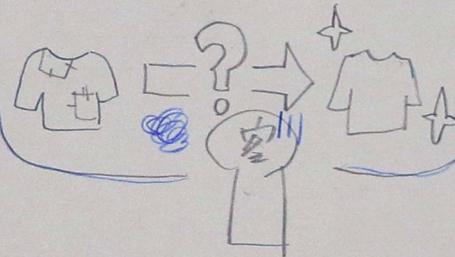
このアフリの理由:
だれでも使いやすいうに、
見やすい、分かりやすいを
心掛けた

○ どんなアフリなのかな?

リサイクルしたい服を種類別に分類し、アフリートとして自分の着たい服を答えることで、客のニーズに合ったリサイクルをすることが出来るアフリ

2つの視点での悩み

リサイクルは環境に良いものだけれど、どうやって捨てられた服がリサイクルされるのか分からなくて、怖い

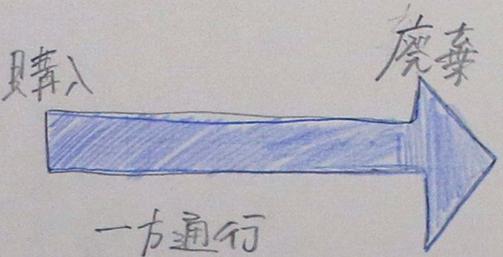


リサイクルは計画も大変な費用もかかるのでなかなか実行にうつすことが出来ない

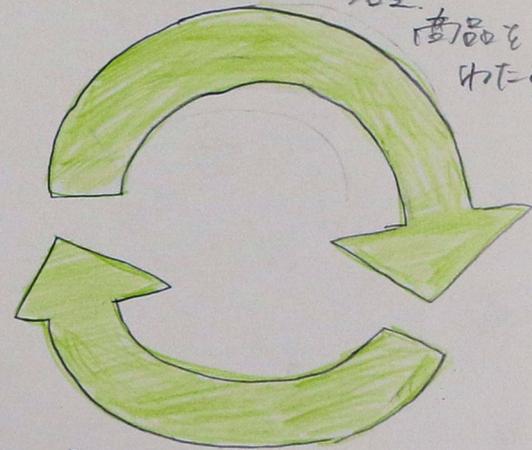


環境に配慮をしながら、なかなかリサイクルに踏み込むことが出来ない両者の意見を同時に解決するのが「rechoose」の役割

「rechoose」の役割



から



ニーズ: 資源を返す。

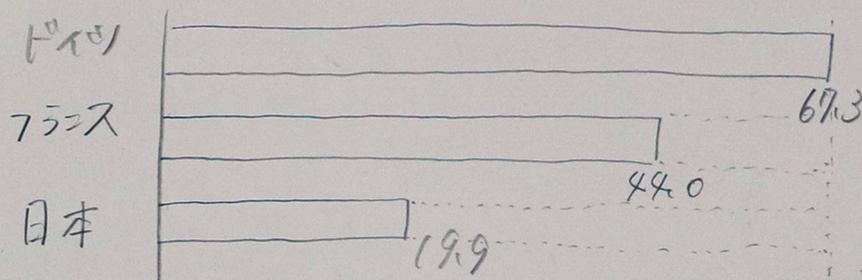
ニーズ: 商品をわたす。

このアフリを考えたきっかけ

今の日本の背景

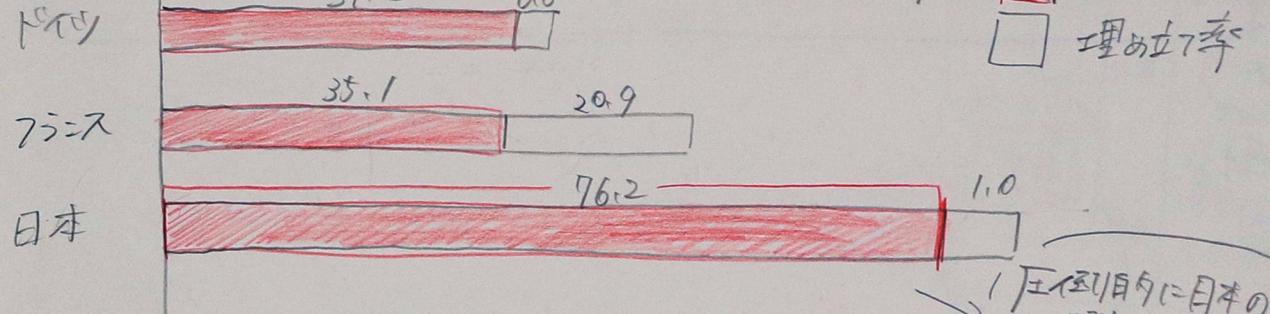
❗ 2019年のリサイクル率が外国より低い

① 家庭ごみをリサイクルしている割合 (国別)



この図を見ると、明らかに他の先進国より日本が低いことが分かる

② 各国のごみの燃却率と埋め立て率



燃却率 (Red hatched box)
埋め立て率 (White box)

図を参考にすると、日本のリサイクル率が低い理由は、

- 品質の均質性を保つため、低下率が低いため、技術的に困難である
 - 日本の燃却率が高い
- ことなにかが主な理由であった

→ 圧倒的に日本の燃却率が高い

例えば、リサイクルできないもの一欄

- ゴム製品 (長靴、雨靴)
- 革製品 (皮ジャケット、革靴)
- 毛糸製品 (セーター、フリース)
- 汚れている服、下着
- 汚れているフリースチン

→ 衣類が多い

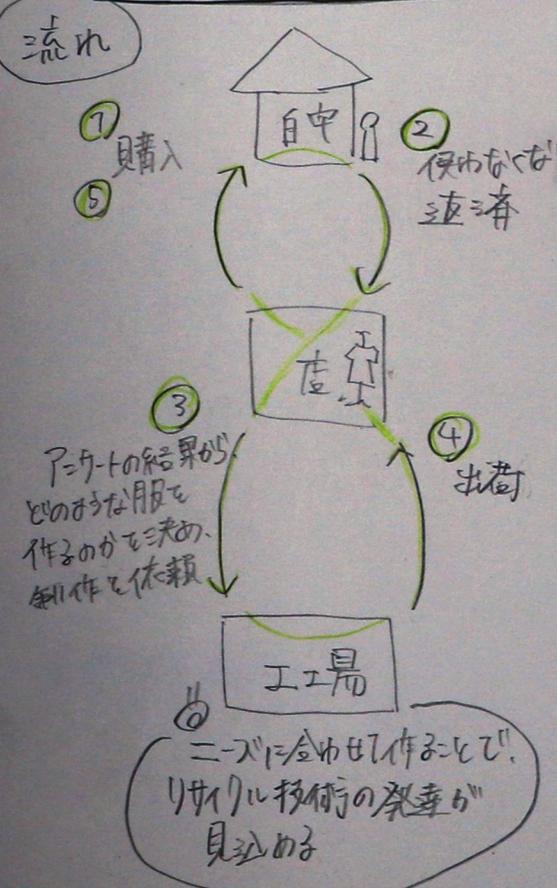
今回はリサイクルが困難だとされている衣類に注目して考えた
 (リサイクル率 2.3%, 12-1月は15.9%)

リサイクルが困難だとされている理由

- リサイクルの工程が公にされていない為、どういったことをしているのか分からず不信感を与えよ。
- 廃棄率リサイクルに費用がかかっている

解決策として

客が自分から進んでリサイクルがしたい！と思う設備を整える



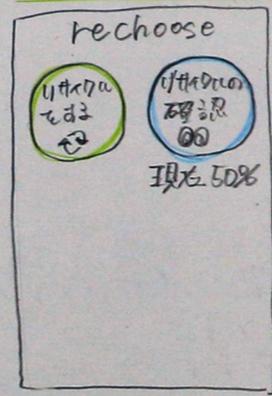
② のときに、自分の衣服をアプリで登録し、どのようなデザインがほしいのか、などのアークトに答える。

また、アプリからは自分の返済した衣類がどのような子のかが見ることができ、リサイクルの仕組みにもっとも理解しやすい。

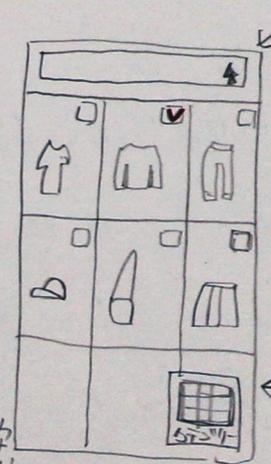
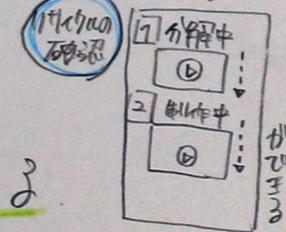
客のニーズに合わせてリサイクル商品を作るので、費用が無駄にならずに商品の循環を作ることができよ。

具体的なデザインについて

① リサイクルしたい商品を登録

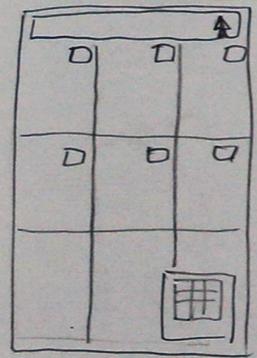


右のリサイクルをするため、左のボタンは、リサイクルのどの程度まであるのかを確認することができよ (50%は任意の程度)



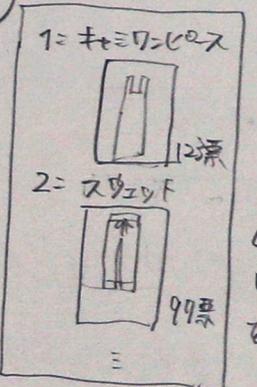
検索バー
 リサイクルしたい商品があれは矢印をつける
 カテゴリーが5枚掲載することができよ

② アークトに答える



自分がほしい商品や気に入っている商品で好きなだけ答えてもらう
 客の好みや世間の流行を抑えることに役立つ

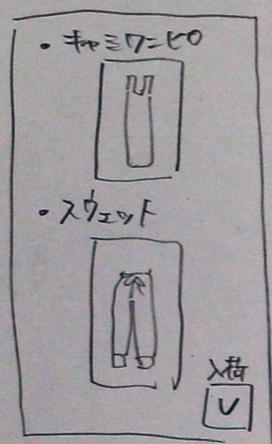
店



店側にはどのような商品がほしいか、キーワード検索して表示、それに基きリサイクル商品で企業に注文

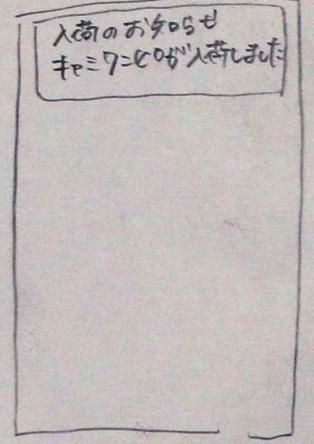
③ 通知

店



店側から荷完了ボタンを押すと、客に通知が行き、安い値段でほしいものを受け取ることができよ

客



これによりアプリが中心となり、店と客のリサイクルがスムーズなやり取りができる。

このアプリのメリット・デメリット

メリット

- 実際はリサイクルに関わることで、関心が高まり環境について考えるきっかけになる
- 自分のニーズに合わせて商品が作られるので、購入する返着の頻度が上がり循環しやすくなる
- 客側の分からないが解消され、リサイクルに前向きになる

デメリット

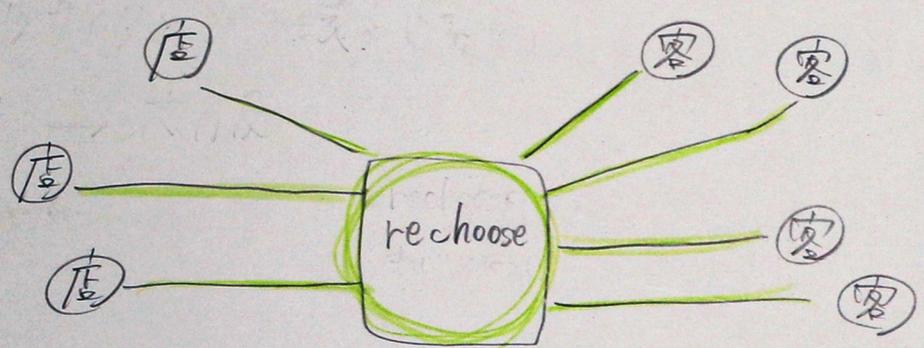
- リサイクル品の登録には実際の商品が必要であるため、多くの衣類店の協力が必要になる
- 利益がどのくらいになるか予想ができていないため、最初は小規模になってしまう

解決案

まず、いくつかの企業を集めて実際にやってみることで利益の予想をして、改善点を発見し直していく。

今後の展開について

最初は小規模でも、徐々にアプリの数を増やしていくことで、アプリ業界全体がリサイクルを考えるようになり、リサイクルしやすい服を作る技術や、回収しやすい仕組みを整えるようになると考える。客側も今まで不透明だったリサイクルを身近に考えることができれば、捨てるという選択肢のみではなく、再利用する、という考えを常に持つようになると思う。



rechooseが中心になることで、リサイクルにおける客と店をつなぎ、未だ浸透していない「衣類のリサイクル」という選択肢を増やして「店やユーザーが増える」ということで、物の循環の輪がさらに大きくなり、「大量消費、大量生産」の一方通行ではなく、持続可能な社会を目指していく。

引用元

1P 外国のごみのリサイクル率.
各国のごみの燃却率と埋め立て率
リサイクル率が低い主な理由.

(国土環境研究所 なぜ日本のごみのリサイクル率はヨーロッパに
比べて低いのか)
より引用

3P 衣類のリサイクル率、リサイクルが「困難だ」とされている理由

(shoichi 衣類はリサイクルできるのか?
繊維業界のリサイクルについて解説)
より引用